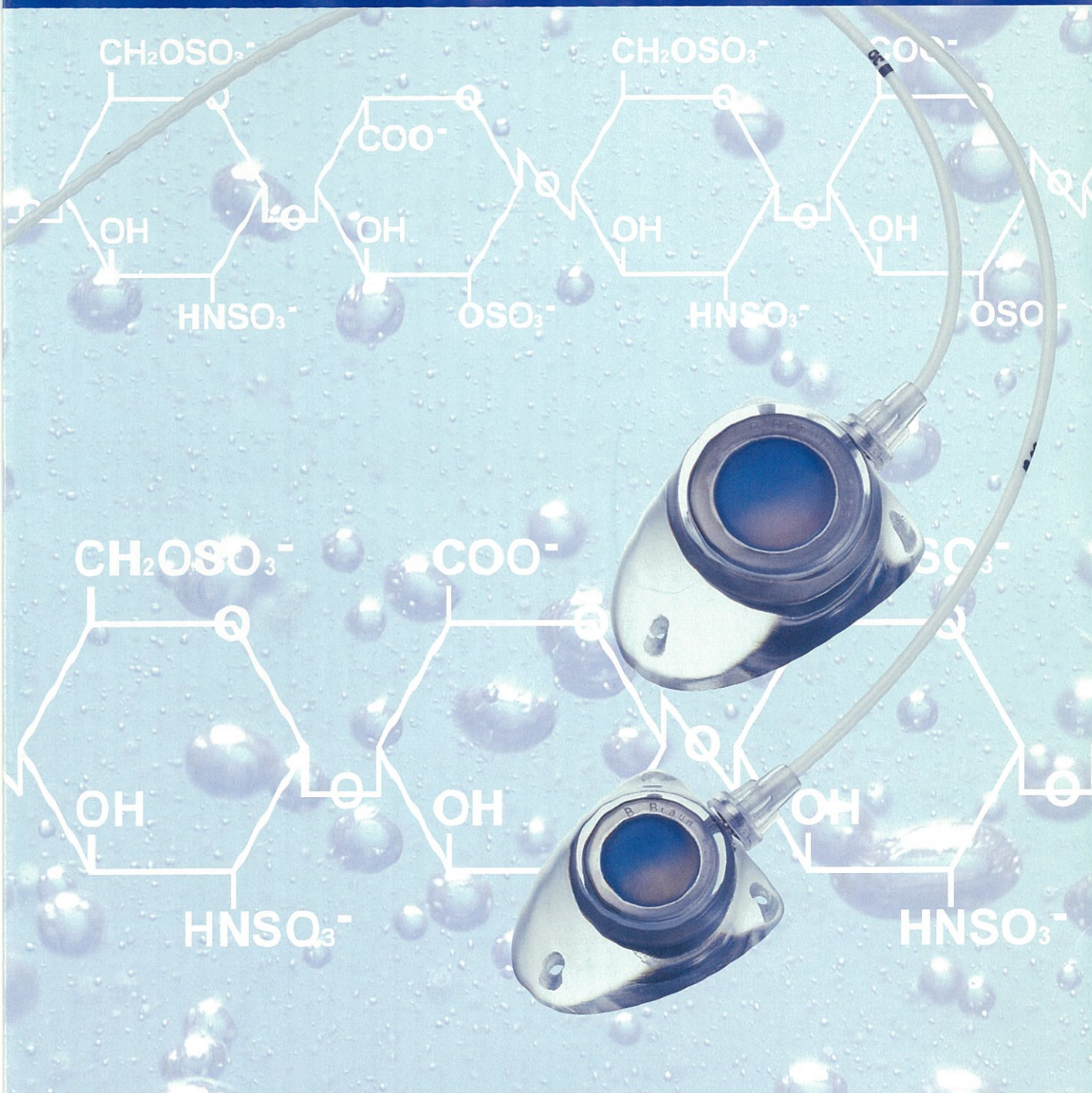


P-Uセルサイトポート



P-U CELSITE PORT

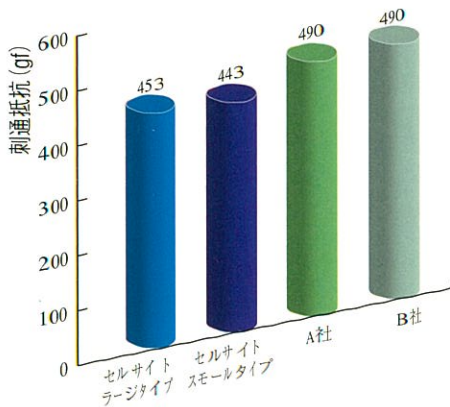
TORAY

東レ・メディカル株式会社

セルサイトの特徴

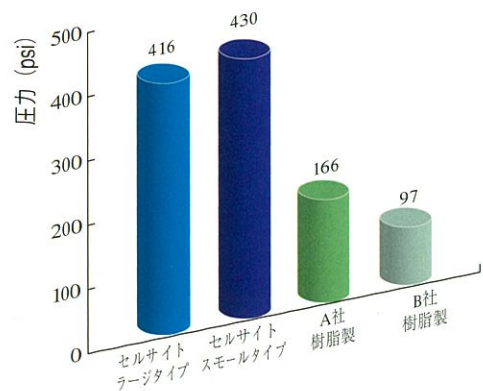
- 1.皮下ポケットにフィットしやすいように、流線形状をしています。
- 2.円筒形状及び円錐形状ポートに比べ、皮下ポケット内で回転しにくい形状に設計されています。
- 3.全表面積における底面の面積比率を高めることにより、皮下ポケット内で転倒しにくくなっています。
- 4.薬液に接触するリザーバー及び接続コネクタ部分に純チタン（純度99.5275%、ISO-5832-2で規定されるインプラント材料）を使用しているため、耐薬品性に優れています。
- 5.リザーバー部分の構成材料であるチタンの厚みを0.5mmと薄く設計してあるため、金属製ポートでありながら、軽く且つMRIでのアーチファクトを軽減します。
- 6.他の樹脂製ポートに比べ耐圧性に優れています。

各製品の刺通抵抗



注1) 22G×30mm シュアカン(ビー・ブラウンジャパン製)を使用し、各製品のセプタム中央部を穿刺した時の加重を測定
 注2) 1kgf=9.8×10³N

各製品の耐圧性



注1) 弊社で製作した静水圧加圧測定器を用い、漏れ又は破損するまで水を加圧した時、最大耐圧力を測定
 注2) 1psi=6895Pa

MRIの影響による温度変化

製 品	MRIによる温度上昇
セルサイト	0.1℃以下
B社（樹脂製）	0.1℃以下
A社（チタン製）	0.1℃以下

測定条件：日立製AIRIS RF Power Max 10分間照射後測定

CT像



MRI像 (1.5T)



CT, MRI像提供：兵庫医科大学放射線科 高安幸生先生

品 種 表

●P-Uセルサイトポート単品タイプ

カタログ番号	タイプ	容量	重量	穿刺耐用回数	付属品	備考
PT-5L	ラージタイプ	0.5mL	8g	3000回	ハンコアリングニードル 22G×30mm ロックリング2個	アンスロン®P-Uカテーテル5Fr.用
PT-5S	スモールタイプ	0.3mL	5g			
PT-5B	プラキアルタイプ	0.2mL	2.5g	1500回		アンスロン®P-Uカテーテル6Fr.用
PT-6L	ラージタイプ	0.5mL	8g	3000回		
PT-6S	スモールタイプ	0.3mL	5g			

●P-Uセルサイトポートセットタイプ
レギュラータイプ

カタログ番号	ポートタイプ	カテーテル			
		フレンチサイズ	適合GWサイズ	全長	カテーテル硬度
PL-5070H	ラージタイプ	5Fr.	0.89mm (0.035インチ)	70cm	ハードタイプ
PS-5070H	スモールタイプ			100cm	
PL-5000H	ラージタイプ			70cm	ソフトタイプ
PS-5000H	スモールタイプ				
PL-5070S	ラージタイプ				
PS-5070S	スモールタイプ				

プリシェイプドタイプ

カタログ番号	ポートタイプ	カテーテル				
		形状	フレンチサイズ	適合GWサイズ	全長	カテーテル硬度
PL-5070HCB	ラージタイプ	コブラ型	5Fr.	0.89mm (0.035インチ)	70cm	ハードタイプ
PS-5070HCB	スモールタイプ				80cm	
PL-5080HCC	ラージタイプ	フックA				
PS-5080HCC	スモールタイプ					
PL-5080HCG	ラージタイプ	RH-A				
PS-5080HCG	スモールタイプ					

テーパーリングタイプ

カタログ番号	ポートタイプ	カテーテル						
		シャフト部		テーパー部		全長	カテーテル硬度	
		フレンチサイズ	適合GWサイズ	フレンチサイズ	適合GWサイズ			テーパー長
PL-5070SST	ラージタイプ	5Fr.	0.89mm (0.035インチ)	2.7Fr.	0.46mm (0.018インチ)	2.5cm	72.5cm	ソフトタイプ
PS-5070SST	スモールタイプ					20cm	90cm	
PL-5090SST	ラージタイプ							
PS-5090SST	スモールタイプ							

節付タイプ

カタログ番号	ポートタイプ	カテーテル				
		フレンチサイズ	適合GWサイズ	節外径	全長	カテーテル硬度
PL-5070SSR	ラージタイプ	5Fr.	0.89mm (0.035インチ)	φ2.7mm	70cm	ソフトタイプ
PS-5070SSR	スモールタイプ					

●包装 1セット/ケース ●EOG滅菌済

■注意事項

- ①本品の使用は、1回限りです。
- ②本品に何らかの異常（液漏れや空気の混入、折れ曲がった製品等）がある時は、使用しないで下さい。
- ③包装が破損しているもの、あるいは開封されたものは、使用しないで下さい。
- ④高温多湿を避け、室温で暗所に保管して下さい。
- ⑤使用する前に添付文書をよくお読み下さい。

- 1) Y. Noishiki, et al: Prevention of thrombosis-related complications in cardiac catheterization and angiography using a heparinized catheter. (ANTHRON®): ASAIO to be published.
- 2) Lokich JJ, Becker B: Subclavian vein thrombosis in patients treated with infusion chemotherapy for advanced malignancy: Cancer. (U.S.) 52 (9), 1586-9, 1983.
- 3) Eskridge JM, Becker GJ, Rabe FE, Richmond BD, Holden RW, Yune HY, Klatte EC: Catheter-related thrombosis and fibrinolytic therapy: Radiology (U.S.), 149 (2), 429-32, 1983.
- 4) Mulvihill SJ, Fonkalsrud EW: Complications of superior versus inferior vena cava occlusion in infants receiving central total parenteral nutrition: J. Pediatr. Surg. (U.S.), 19 (6), 752-7, 1984.
- 5) Ducatman BS, McMichan JC, Edwards WD: Catheter-induced lesions of the right side of the heart. A one-year prospective study of 141 autopsies: JAMA (U.S.), 253 (6), 791-5, 1985.
- 6) Lokich JJ, Bothe A Jr, Benotti P, Moore C: Complications and management of implanted venous access catheters: J. Clin. Oncol. (U.S.), 3 (5), 710-7, 1985.
- 7) Donayre CE, White GH, Mehringer SM, Wilson SE: Pathogenesis determines late morbidity of axillosubclavian vein thrombosis: Am. J. Surg. (U.S.), 152 (2), 179-84, 1986.
- 8) Grisoni ER, Mehta SK, Connors AF: Thrombosis and infection complicating central venous catheterization in neonates: J. Pediatr. Surg. (U.S.), 21 (9), 772-6, 1986.
- 9) Borow M, Crowley JG: Prevention of thrombosis of central venous catheters: J. Cardiovasc. Surg. (ITALY), 27 (5), 571-4, 1986.
- 10) 与那覇朝英, 出月康夫, 山田洋介, 渡辺 弘, 森 有一, 長岡昭二, 丹沢 宏, 菊池哲也: 走査電顕による各種カテーテル材料表面における血栓形成の観察: 人工臓器8 (1), 276-9, 1979.
- 11) 山田洋介, 出月康夫, 萩原 優, 青木茂弘, 渡辺 弘, 与那覇朝英, 森 有一, 長岡昭二, 糸賀正明, 丹沢 宏: 血管内留置カテーテル表面における血栓形成の走査電顕的観察: 人工臓器7 (1), 201-3, 1978.
- 12) 妹尾 学 他: 医用材料と生体, 5.2 シリコンとポリウレタン, 270-82, 1982
- 13) 日本化学会 編: 医用材料の化学, 4.5. 材料の生体内劣化, 77-82, 1978.
- 14) 辻 一弥, 島村善行, 清水久和, 竹中能文 他: 進行した肝癌に対する開腹肝動脈カニューレーションからのTAE (肝動脈塞栓術): TAI (肝動脈制癌剤注入法) 療法: 日本消化器外科学会 18, 250, 1985.
- 15) 島村善行, 清水久和, 竹中能文, 秋元 寛, 志真泰夫, 在間和弘, 高橋 陽, 北谷知己, 松山智治, 長谷川 博: 肝ガンの集学的治療一節付きヘパリン加工カテーテル留置によるTAI-TAE療法: 癌と化学療法, 13 (4), 459, 1986.
- 16) 島村善行, 松山智治 他: 肝細胞がんのリビオドール肝動脈塞栓術: カレントセラピー4 (10), 33-42, 1986.
- 17) 島村善行: 肝動脈塞栓術法の進歩: 消化器病セミナー, 26, 37-54, 1987.
- 18) 高安幸生, 小竹正昌, 谷口 縁 他: 当院の動注ポートカテーテルシステム-留置技術と塞栓術への応用: 日本血管造影INTERVENTIONAL RADIOLOGY研究会雑誌4, 38-9, 1989.
- 19) 高安幸生, 小竹正昌, 横山英世 他: 間歇的DSM化学療法塞栓療法のための動注ポートシステムとその留置技術: 癌と化学療法, 16 (18), 3075-80, 1989.
- 20) 熊田 卓, 中野 哲: 超音波ガイド下左腋窩動脈直接穿刺によるカテーテル留置法: 日本医放会誌, 50 (12), 1617-9, 1990.
- 21) 小久保 宇, 大友 邦, 青木茂樹, 吉田英夫, 松岡勇二郎, 國土典宏, 万代泰嗣, 出月康夫, 杉崎勝好, 板井悠二, 飯尾正宏: Pre-shapedカテーテルを用いた動注用カテーテル留置法: 脈管学, Vol.30 No.7, 1990.
- 22) 荒井保明: リザーバーとは: リザーバー研究会編, 蟹書房, 1-7, 1990.
- 23) 荒井保明, 高安幸生: カテーテル挿入留置とリザーバーの埋込み: リザーバー研究会編, 蟹書房, 42-52, 1990.
- 24) 角田 徹: カテーテル挿入留置とリザーバーの埋込み: リザーバー研究会編, 蟹書房, 53-9, 1990.
- 25) 草野満夫: カテーテル挿入留置とリザーバーの埋込み: リザーバー研究会編, 蟹書房, 86-97, 1990.
- 26) 高安幸生: 薬剤分布の把握とリザーバーを用いた画像評価: リザーバー研究会編, 蟹書房, 113-27, 1990.
- 27) 齊藤博哉, 鎌田 正, 白測浩明: 下腹動脈経路リザーバーシステム留置法: 癌と化学療法, 18 (10), 1633-7, 1991.

製造販売業者
東レ株式会社

販売業者
東レ・メディカル株式会社